

理工図書株式会社発行

# 「球跡巡り」一球史を刻んだ球場跡地を歩く

令和5年(2023)1月26日発行

山本 勉著

当館書跡 ID111367107

昭和・平成に使用され、今はもう使用されていないプロ野球の本拠地となった球場や地方の球場の過去と現在についてレポートする。当時の社会状況・スポーツ界の分析などを織り交ぜ多角的な視点から捉えた現代史の一部を描いた書籍。

日本野球機構公式記録員 山本 勉氏著

当館今昔写真 WEB から使用された2テーマを紹介します。

## 球跡(28) 【奈良春日野野球場】(写真右上)

### 東大寺大仏殿と南大門を望む野球場

春日野運動場が開場したのは明治時代の1910年。平城遷都1200年を記念して造られました。野球場は3年後1913年開設。中堅後方に東大寺大仏殿の屋根が見える。奈良県下で初のプロ野球公式戦が開催されたのは1949年一リーグ時代阪神対東急戦で藤村・別当の本塁打王争いが繰り広げられた。野球場を含む春日野運動場は昭和の終わり頃まで使用されていましたが、1988年の「なら・シルクロード博覧会春日野会場」となるのを機に閉場しました。

## 球跡(39) 【美吉野野球場】(写真右下・下)

### プラタナスの木に囲まれた美しい野球場

大正末期に野球場のほか、陸上競技場、庭球場、相撲場、シャワー室に選手控室など、国内屈指の施設を備えた「美吉野運動競技場」がありました。

プロ野球開催は二リーグ制になった1950年阪急対東急・近鉄対南海の変則ダブルヘッダーを開催。2年後、近鉄対南海のダブルヘッダーが行われましたがこれが最後のプロ野球でした。1952年の伊勢湾台風で吉野川は被害を受け河川改修工事で川幅が広げられ1960年代に取り壊され跡地に吉野小学校が建ちました。



中堅後方に東大寺大仏殿の屋根が見える奈良春日野球場

写真提供：奈良県



1954年頃の美吉野野球場

写真提供：NKTK



野球場と選手控室



スコアボードで観戦する子供達